

COP29の見どころ

— 資金 —

なぜ今年「資金COP」と呼ばれるのか？

現在

長期気候資金： 1,000 億ドル目標:

ポスト
2025

新規合同数値目標(NCQG)

世界の資金的ニーズ

5.8兆

途上国が国別削減目標(NDC)を実施するのに必要なドル資金

4-8倍

年間気候資金のフローは、緩和のためだけでも4-8倍になる必要があり、世界には十分は資金と流動性がある。

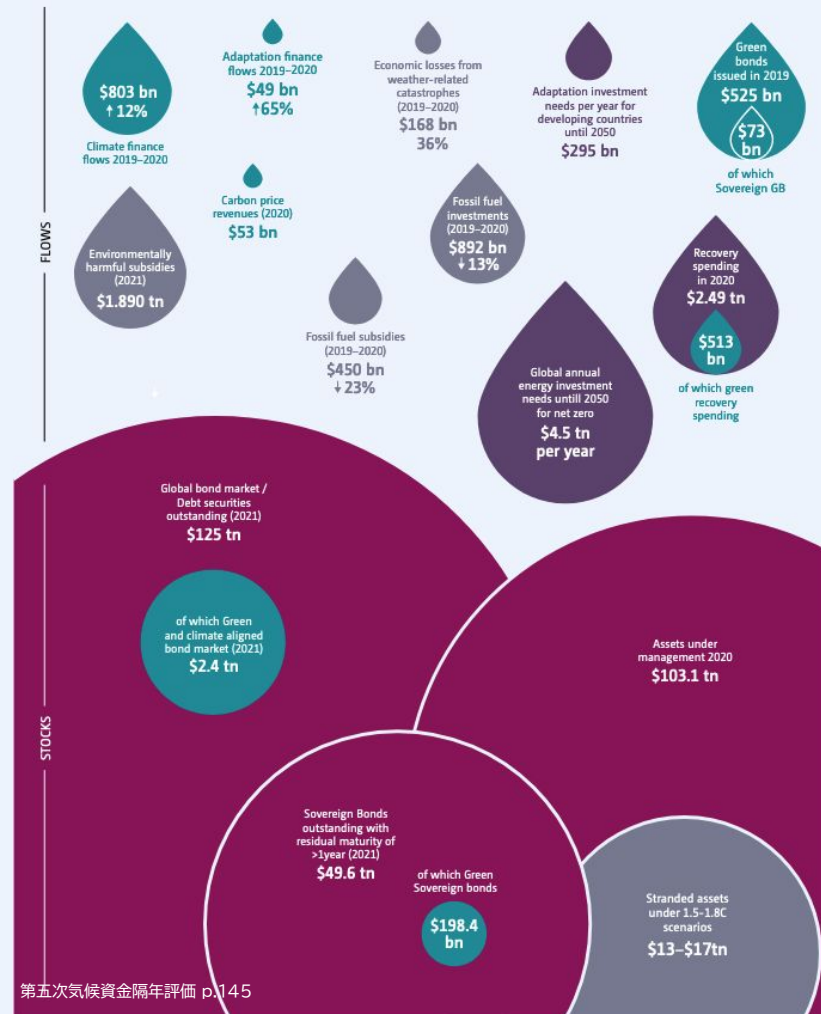
833億ドル

2020年までに達成するはずだった100bドル資金目標への2020年での供給量(OCED試算)

国際的な経済危機(エネルギー・食糧・負債・通貨・etc)

気候資金に関するレポート

- COP17より、「資金常設委員会」が隔年評価を行っており、今回で第5回
- 化石燃料補助金に対する政府支出は推定3950-4780億ドルで、世界の気候変動資金のフローの約半分、化石燃料投資は2019-2020平均で、年7820億ドルに達し、気候変動資金の額とほぼ同額
- 電力部門への化石燃料投資は年平均8920億ドルに達し、さらに石油・ガス上流部門への投資が3530億ドル行われ、生物多様性に有害な可能性のある支援活動への政府支出は2739~5420億ドルであることを懸念
- 先進国から途上国への資金は、2019-2020で平均年間401億ドル。

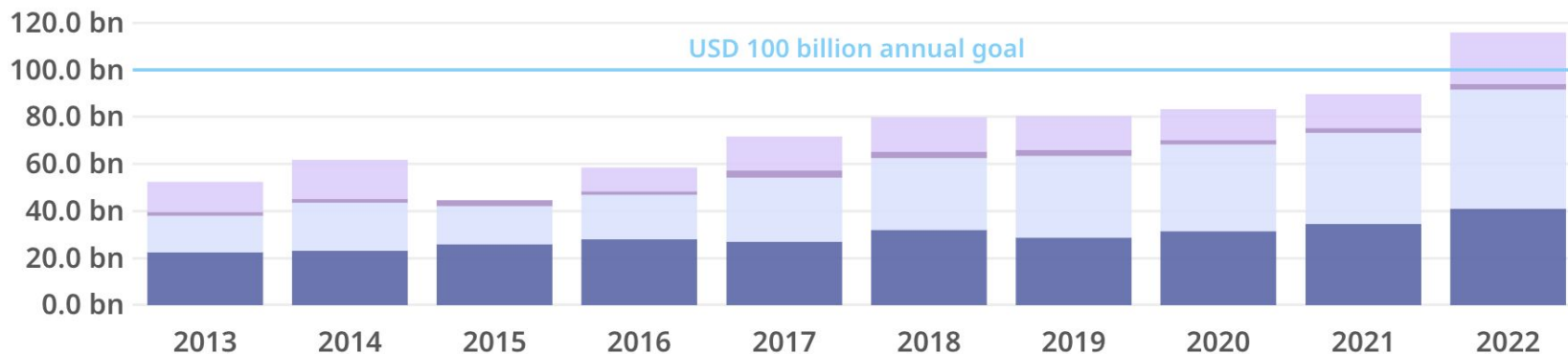


1000億ドル目標について

Climate finance for developing countries

Amounts provided and mobilised by developed countries, billion USD

■ Bilateral public
 ■ Multilateral public (attributed)
 ■ Export credits
 ■ Mobilised private (attributed)



The gap in the private finance series in 2015 is due to the implementation of enhanced measurement methodologies. As a result, private flows for 2016-22 cannot be directly compared with private flows for 2013-14.

Source: OECD (2024), [Climate Finance Provided and Mobilised by Developed Countries in 2013-2022](#).

気候資金に関するデータ・ファクト

オックスファムのレポートでは、800億ドル以上の資金が流れたというOECD発表に対して、実際の資金は1/3ではと指摘

Figure 1: Reported climate finance versus Oxfam's estimates of climate-specific net assistance (2019, 2020 and 2019–20 average)

CSNA = 気候に限定した実質支援



Oxfam (2022) Climate finance short-changed - The real value of the \$100 billion commitment in 2019–20

気候資金について

途上国は、

1兆ドル強

を、太宗を公的資金
で、と主張。



アフリカ「毎年1.3兆ドル。資金の質、透
明性、債務の持続可能性が重要」

島嶼国&後進途上国「損失と被害を組み
込むこと。特に被害を受け、資金にアクセ
スできていないグループへ特別の、追加的
努力を。」

先進国は、

1000億ドル

から積み上げを主張。
公的資金だけでは無理と。



米国「様々な資金全部含めて、一兆ド
ルを超える。」

日本「公的資金だけでの拠出は不可
能」

スイス「野心とは達成可能でないとい
けない」

より大きな世界的な文脈 - 国際財務構造の改革

Global debt situation

Map showing the debt situation as well as the debt trend of countries in the Global South



GLOBAL SOVEREIGN
DEBT MONITOR 2024

- 世界の多くの国で、債務状況の悪化。
- 気候対策の資金すら足りない。気候災害への対応で多くの拠出。
- 途上国は資金に高い金利を支払わされている。



Global Sovereign Debt Monitor 2024

ポイント

1. 気候危機にマッチする資金が供給されるのか？
2. 激変する気候に対応するのに十分な適応や、損失と被害への資金がきちんと入るのか？
3. 資金の「量」だけでなく、「質」がきちんと担保されるような仕組みが整うのか？
4. 「もしトラ」（もしトランプ大統領再選になったら）の場合でも、きちんと世界は多国間主義とグローバルコモンズへの投資にコミットできるか？

ご清聴ありがとうございました！

GREENPEACE